

病理検体を用いた研究についてのお知らせ

岐阜大学医学部附属病院では、病理解剖にご協力いただきました方の検体・標本を用いた多施設共同研究を行っております。この研究は、医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において承認されました。私たちの行う医学研究は現在、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に沿って行う必要があります。その規定では、研究内容の情報を公開することが必要とされているため、当院のホームページ上に掲載いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	大脳皮質基底核変性症剖検例における臨床像の解明および臨床診断基準の妥当性検証～多施設共同研究～
研究機関	国立病院機構東名古屋病院（研究責任施設）および研究協力機関
研究協力機関	新潟大学、愛知医科大学、東京都健康長寿医療センター、東京医科歯科大学、東京都医学総合研究所、北海道大学、東北大学、国立病院機構相模原病院、東京都立松沢病院、岡山大学、東京都立神経病院、弘前大学、国立精神・神経医療研究センター、鳥取大学、岐阜大学、京都府立医科大学、国立病院機構あきた病院、国立病院機構医王病院、国立病院機構刀根山病院、国立病院機構松江医療センター、帝京大学、福祉村病院、小山田温泉記念病院、国立病院機構鈴鹿病院、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、新渡戸記念中野総合病院、阿賀野病院、三島病院、小千谷さくら病院
研究責任者	饗場郁子(国立病院機構東名古屋病院リハビリテーション部長・第一神経内科医長)
研究の目的	わが国における大脳皮質基底核変性症の臨床像を解明し、精度の高い大脳皮質基底核変性症の診断基準を作成する。
研究の方法	・対象となる方： 当院で病理解剖にご協力いただいた方で、生前に大脳皮質基底核変性症あるいは大脳皮質基底核変性症候群と診断された方および大脳皮質基底核変性症と病理診断された方 ・利用させていただく臨床情報および試料： 年齢・性別・身体所見・神経学的所見・MRI など画像所見・病理学的所見・病理組織および組織より抽出されたDNA およびRNA
個人情報の取り扱い	お名前・住所など個人が特定できる情報は削除した上で解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で公表されますが、個人を特定できる情報は利用されません。当該研究に使われることを望まれない方の記録・資料は研究には用いませので、下記連絡先担当者にご連絡いただければ幸いです。
問い合わせ先	〒501-1194 岐阜大学医学部附属病院神経内科・老年内科 電話 058-230-6254 担当医師 林 祐一